

2017年度事業実績

1. 研究所員会の開催

2017年度研究所員会は、次のとおりに開催された。

- (1) 4月27日（木）、第2講義棟第4会議室にて
2017年度の特別研究（経済研究所所長推薦）の申請、及びシンポジウムの実施計画が審議された。
- (2) 6月29日（木）、第2講義棟第4会議室にて
2017年度経済研究所のシンポジウムは、10月21日に「公共施設マネジメントは、新たなまちづくりのチャンス」をテーマとして、文化情報学研究所、比較法研究所および、飯能市と入間市の合同により開催することとなり、その骨子が所長より簡単に説明された。
- (3) 10月19日（木）、第2講義棟第4会議室にて
客員研究所員1名の継続要望があり、審議の結果了承された。次年度予算要求について所長より前年同額案が提示され、合わせて、現在の予算執行状況が説明された。ただし、シンポジウムがまだ終わっていないため、講演会費執行状況が不確実であることから、具体的な要求額は次回に議論することとなった。
- (4) 12月14日（木）、第2講義棟第4会議室にて
次年度予算要求についての説明が所長よりなされた。2018年1月27日に行われる「平成28年度特別研究成果報告会／公開シンポジウム」の開催内容が共同研究者（所長）より説明され、承認された。2017年10月21日に開催された「飯能市・入間市・駿河台大学合同シンポジウム」において経済研究所が調査したアンケートの結果が報告された。
- (5) 1月26日（木）、第2講義棟第4会議室にて
所長より客員研究所員の単独投稿ができるよう、掲載規定の改正案が示され承認された。次年度客員研究所員2名の再任が承認された。

- (6) 2月22日(木)、第2講義棟第4会議室にて
次期経済研究所所長に小澤所員が承認された。本年度退任される水尾、吉住両所員の次年度客員研究所員の委嘱について審議され、両名ともに承認された。
- (7) 3月9日(金)、第2講義棟第4会議室にて
2018年度の運営委員として、小澤伸光、佐川和彦、野田裕康、町田欣弥の4名が承認された。

2. シンポジウム・講演会の実施

- (1) 飯能市・入間市・3研究所合同シンポジウムの開催
実施日：10月21日(土)
演題：「公共施設マネジメントは、新たなまちづくりのチャンス」
基調講演者：佐々木陽一氏(PHP総合研究所主任研究員)
コーディネーター：熊田俊郎氏(駿河台大学法学部教授)
パネリスト：山岡靖義氏(入間市連合区長会会長)、大野康氏(飯能市地域包括支援センター運営等協議会会長)、佐藤将之氏(早稲田大学人間科学学術院准教授) 廣田雅司氏(埼玉りそな銀行地域ビジネス部プロジェクト開発推進室長)
コメンテーター：塚本美恵子氏(文化情報学研究所所長) 千草孝雄氏(比較法研究所所長) 野田裕康氏(経済研究所所長)
- (2) 経済研究所講演会・シンポジウムの開催 実施日：1月27日(土)
演題：「地域スポーツの日独比較—埼玉県とフランクフルト市の比較—」
第1部 平成28年度特別研究成果報告
研究報告1：明石真和氏「ドイツのサッカー事情—ドイツ中部地域のクラブ事情—」(研究代表者)
研究報告2：野田裕康氏「フランクフルトのスポーツ支援—連邦と州の予算を考える—」(共同研究者)
第2部 公開セミナー「埼玉県のサッカー教育の現状」
特別講師：竹沢 茂氏(関東大学サッカー連盟評議員)

2017年度事業実績

特別講師：高峯弘樹氏（駿河台大学サッカー部監督）

コーディネーター：明石真和氏

3. 研究会の実施

2017年度の研究会は、次のとおりに開催された。

6月29日（木）

杉田芳雄客員研究所員「『国民の納税意識』について」

2月22日（木）

久持英司客員研究所員「古代ギリシャ思想の会計倫理への援用—プラトンを中心に—」

3月9日（金）

2017年度特別研究・中間報告会（特別研究助成プロジェクト）

小澤伸光（研究代表者）「地域雇用創出と観光ビジネス」

4. 2017年度の特別研究助成費（経済研究所所長推薦）

経済研究所所長推薦として申請した次の研究に交付された。

研究代表者：小澤伸光

共同研究者：町田欣弥

研究テーマ：地域雇用創出と観光ビジネス

5. 経済経営学部教員最終講義

3月15日（木）

水尾順一教授 「日本における経営倫理の過去・現在・未来—その制度的枠組みと、ESRによる三方よし経営を考える—」

吉住知文教授 「駿河台大学の15年間を振り返って」